



## 決勝レポート

### 2023/7/16 Rd-6 FUJI SPEEDWAY

天候：曇り 気温：26℃ 出走台数：22台

観客数：15日(土)12,700人 16日(日)20,500人 合計33,200人

7月夏休みも始まる3連休の富士スピードウェイ。「スーパーフォーミュラ夏祭り」として開催された第6戦には3万人を超える多くの観客を迎えた。真夏日が予想されていたが、昨日に続き雲が多く、気温25度前後と若干涼しさも感じる中開催された。

ポールスタートの牧野選手は、しっかりとポジションを守り、オープニングラップで1秒のギャップを築く。3番グリッドスタートの太田選手はややホイールスピンが多く出遅れ、混乱の中位置取りも悪く7番手まで順位を下げることになってしまった。

10周を終了しピットウィンドウが開くと、チームはまず太田選手をピットに呼びタイヤ交換。その翌周にピットインしたローソン選手に反応し、12周目に牧野選手をピットへ。チームはミスなく牧野選手を送り出し、ローソン選手の前でコースインするが、すでにタイヤの温まっているローソン選手のコーナリングスピードを防げず、コカ・コーラコーナーで先行されてしまう。

牧野選手とローソン選手はほぼ同じタイムを刻みながら膠着状態へ。

太田選手は5番手を走行しながら、宮田選手、佐藤選手らと3位争いを展開。

牧野選手は後半、ローソン選手に食らいつくも徐々に差をあげられ、悔しい2位でフィニッシュ。太田選手は終盤までステイアウトした平川選手に先行を許し6位。今季初ポイント獲得してレースを終えた。

#### 5：牧野任祐 選手 2位

悔しいの一言に尽きる週末になりました。

ポールポジションから初優勝を目指したレースでしたが、完全に実力で負けてしまいました。レース前半から中盤にかけてのラップタイムは互角で、戦略的にはセオリー通りでしたが、僕のインラップがやや遅く、ローソン選手のアウトラップが速く、後半は毎ラップ0.1秒程度差をあげられる状況でした。

第5戦菅生で3位、その後のテストからも好調で今回はポールポジションも獲得でき、ポジティブなことの多い週末でしたから、次戦のもてぎは必ず勝てるように引続きチームと頑張りたいです。

#### 6：太田格之進 選手 6位

スタートでホイールスピンが多く、位置取りも悪くて大きく順位を落としてしまいました。レースペースも良かったので、一瞬の判断ミスが大きく響く結果となってしまいました。予選はしっかりと結果を残すことができ、自分自身にも車にも自信を持ってました。

今後に期待できる週末でしたから、次戦もてぎが楽しみです。